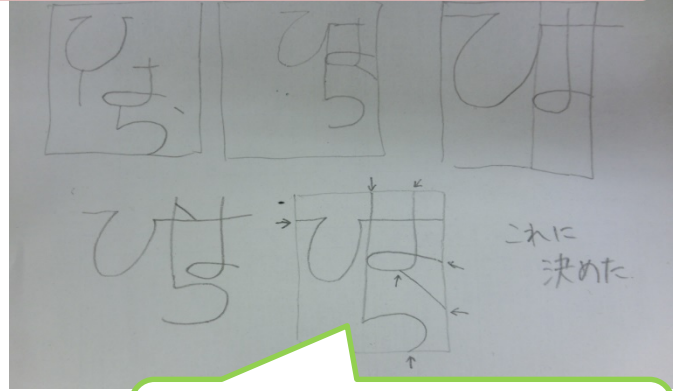
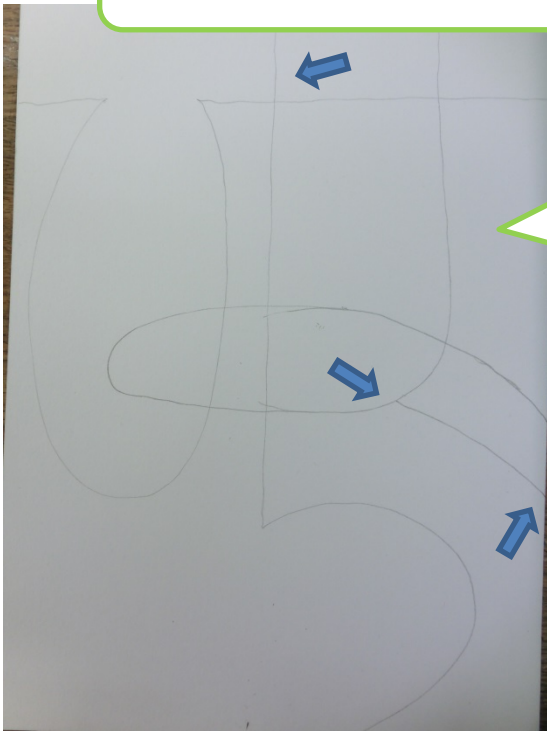


①いろいろな書き方を試して…



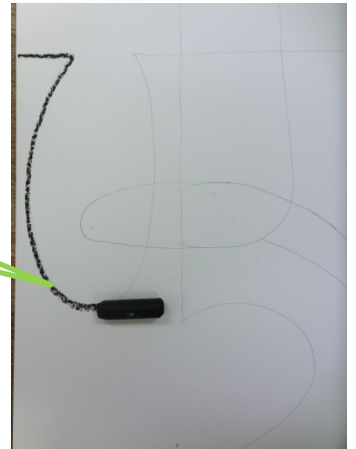
②どれか一つに決めます。



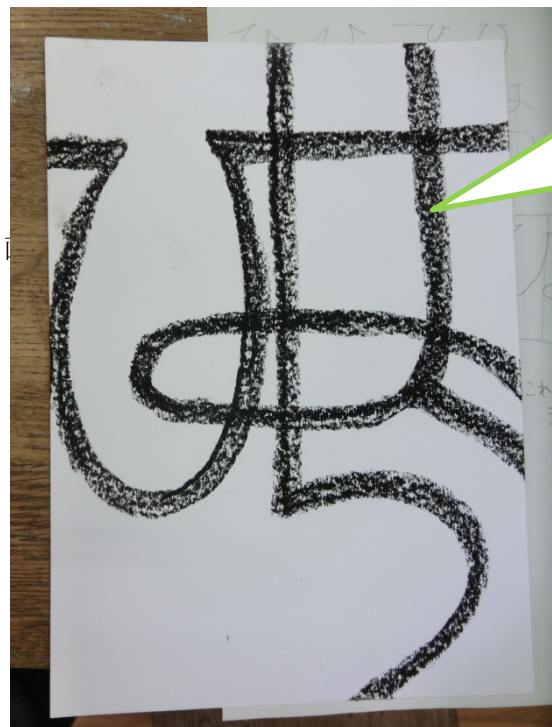
③決めた案を画用紙に写します。

このときに、
線の始めと終わりは、必ず紙のフチか、
他の字の線のところまでのばします。

④パスで太く濃くなぞる。
(クレヨン・クレパス)

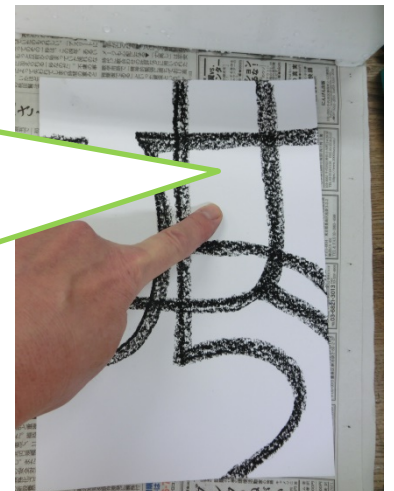


⑤濃く太くなぞると色塗りがやりやすいです。
(画用紙の白が見えないくらいがベスト)



⑥この場所をグラデーションでぬっていきます。

えんぴつでうす〜く区切って…

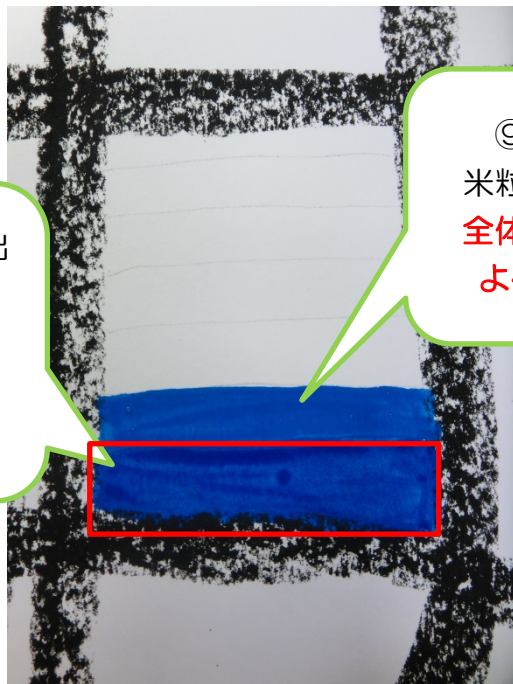


青からだんだん空色にすこしずつ変化（グラデーション）させていく

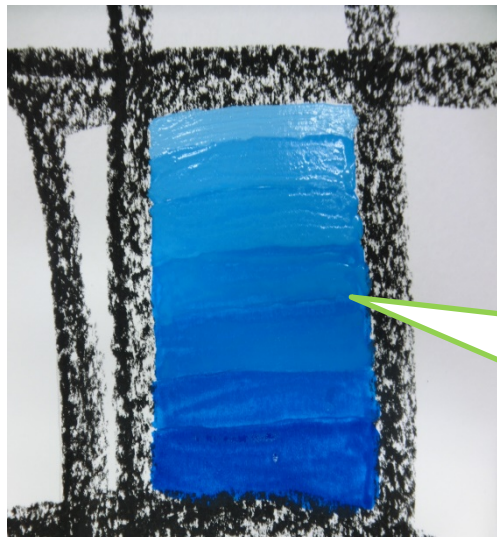


⑦好きな色を選んで、チューブから出したそのままの色に水を1滴たらし「ソース」くらいの状態を作る。

⑧好きな色を選んで、チューブから出したそのままの色に水を1滴たらし「ソース」くらいの状態を作る。さらに最初の区切った部分にぬる。

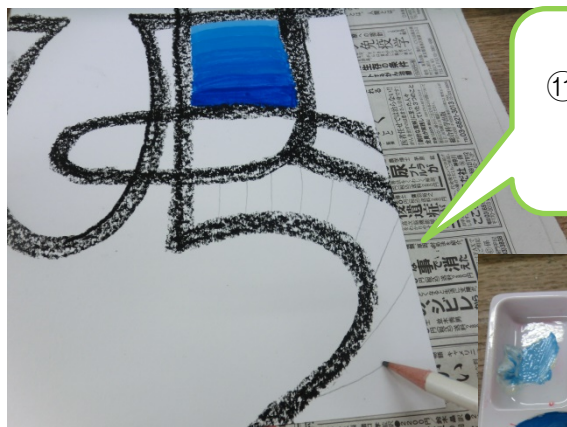


⑨最初にぬった青に。米粒くらいの量の白を入れ全体が同じ色になるようによ〜く混ぜてからぬる。



⑩まぜてぬって、またまぜて…を繰り返していきます。

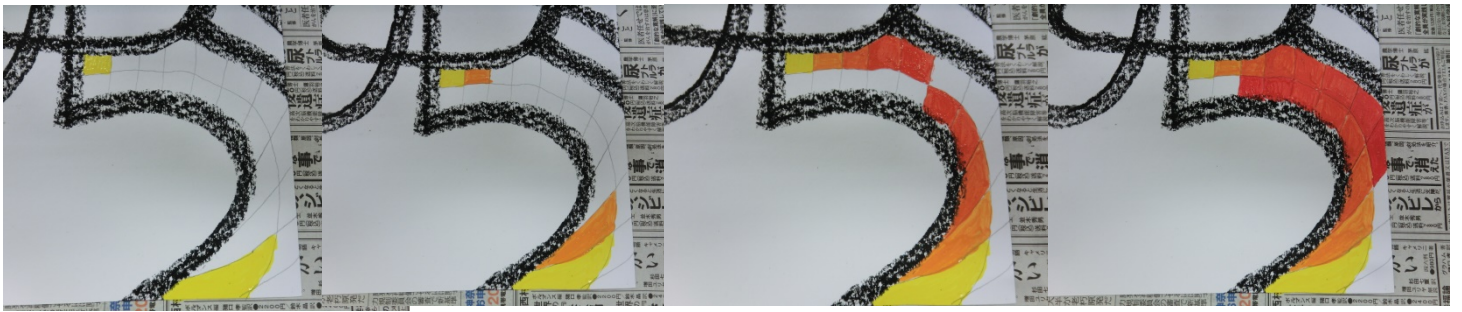
赤からだんだん黄にすこしずつ変化（グラデーション）させていく



⑪ぬる場所を決めて、区切ります。

⑫最初は黄をぬって、次は黄に少しずつ赤を混ぜて、またぬって…。のくり返し





上の場所は、区切ってからさらに半分の線を引き、両はじから黄をぬり始めました。こういう思い付きは…『思考・判断・表現等』の観点で評価します。

水の量により「濃い薄い」で表すグラデーション

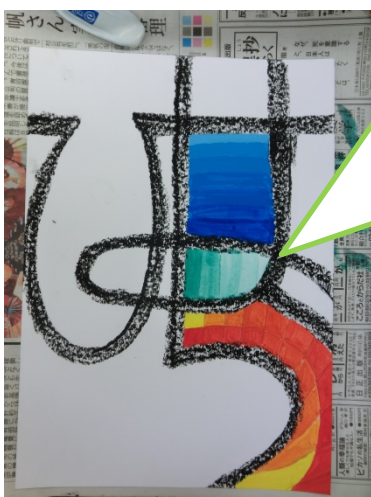
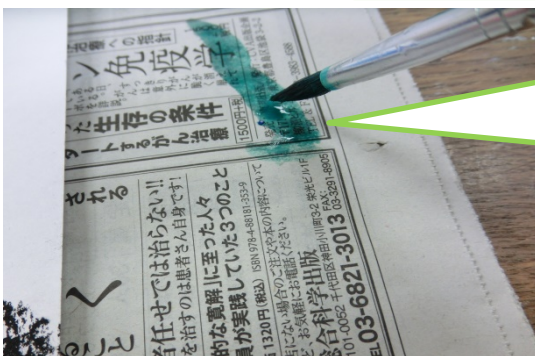


⑬米1つぶんくらいの量の1色を用意します。

⑬最初に区切った場所にぬったら、水を^{いってき}一滴たらしてよ〜く混ぜます。



⑭水で薄めていくので、筆は水を多くふくんでいます。新聞やタオルに水を吸わせてビシヤッとならないよう調節しながらぬっていきましょう。



⑮最後にもう一度パスで線を濃く整えるときれいに仕上がります。全ての場所をぬっても、一部に白い場所を残していてもよいです。が、めんどうだからぬらない…というのはいけませんよ。(画像は製作途中です…) この学習での評価は以下に…

- 知識・技能＝グラデーション（色の変化）が現れているぬり方
色の変化の組み合わせを
- 思考・判断・表現等＝色（濃淡・明度・彩度）や字形（拡大・回転・変形）の変化・組み合わせ
等画面構成の面白さに気付いたり考えたりして表現している。
- 主体的に学習に取り組む態度＝この課題では「完成」させているか否か、で評価します。